

市民の声の届く市政を

質問

市における明るい選挙推進協議会の活動、取り組みは。

総務部長

明るい選挙推進協議会は、地方選挙において全国で選挙違反が横行したのを受け、その選挙を正しくきれいなものにしよと市民活動の広がりの中で全国的に設置をされた。

市の活動の取り組みは、常時啓発もし、選挙についての重要性も認識している。出前トークや出前講座の要望があれば、県とも一応連携をし応

えていく。

質問

近年、期日前投票に対する認識が浸透してきている。投票率の向上と有権者がさらに

利用しやすい環境を整えるために設けられたものである。より多くの市民の方の声を市政に届けるべく、佐織・八開地域の方たちのためにも、現佐織支所と佐屋の本庁の2カ所で期日前投票を行えるようにしては。

市長

今現在、必ず投票率が上が



竹村仁司 議員

るといふ手法は確立されていないと思う。期日前投票所を設置して投票率が本場以上に上がるのか、過去からの経緯・結

健康増進事業の拠点づくりは

質問

市における健康増進事業、市長のマニフェストを具体的に実行へ移すための取り組みは。

市民生活部長

健康増進事業の具体的な取り組みについては、一人でも多くの方に健診を受けてもらい、がん・糖尿病などの早期発見、早期治療につながるような体制づくりを進めていく。

果を踏まえて、なかなか結びつけるのは難しい。しかし、少しでも政治や行政に興味を持ってもらい、投票率が少し

質問

健康増進と医療はセットで考えるべきだ。その点から、健康増進事業の本丸は直営八開診療所にするべきで、例えば名前を「直営クリニックあいさい」とか「直営健康センターあいさい」などとし、本丸としての機能を発揮させては。

市民生活部長

診療所として、地域医療に果たす役割については、他の医療機関の動きも参考にしながら、今後、情報収集をしていきたい。八開診療所に来る患者も高齢者が多く、その名も浸透しており、このままの名前でいきたい。

でも上がるように、選挙管理委員会も含め、今後協議・検討していかなければならぬい。

平成26年度からは、特定健診、がん検診、各種検診の実施体制の見直しをした。市民の方に身近で簡単に便利な健診となり、受診率の向上につながる事が、市民の健康づくりになることを目指している。



▲直営八開診療所